



## 空っぽ温泉コンサート 井上ひさしぶり

**大** 石田AIRの企画による2つの公演が5月28日(火)と6月1日(土)に行われました。5月28日には「空っぽ温泉コンサート」があったまりランド深堀で行われ、お湯を抜いた空っぽの浴場で歌と演奏とダンスが響き合い、幻想的な世界が広がっていました。本公演では、大石田で合唱を楽しむ会の指導者として活動されている佐藤登氏、知里氏(本町)も歌を披露しました。

また、6月1日には虹のプラザなないろホールで、作家井上ひさしの作品をモチーフにした創作ダンス「井上ひさしぶり」の公演が行われました。大石田町での公演の翌日には井上ひさしの出身地である川西町でも公演が行われました。



## 町特産品の自然薯 児童が栽培体験

**町** 内小学校の6年生児童を対象とした自然薯の栽培体験学習が5月23日(木)に行われ、3校の児童39人が自然薯の植え付けを体験しました。これは、大石田町新作物開発研究会(海藤明会長)の協力で、毎年実施されているものです。

児童たちは、はじめに海藤会長から、自然薯栽培のきっかけや自然薯栽培にかける思い、栽培方法などの説明を聞きました。その後、研究会のメンバーに植え付け指導を受けながら、種芋の植え付けを行いました。

参加した秋保春佳さん(大小)は、「土をかける力加減が難しかった。大きく育てほしいです」と話していました。



## 爽やかな汗流し親睦深める 第46回町壮年ソフトボール大会

**ソ** フトボールを通じて体力の増進を図るとともに互いの親睦を深めてもらおうと、第46回大石田町壮年ソフトボール大会が5月26日(日)に開催されました。

大会には3チーム41人の選手が参加し、下河原グラウンドを会場に熱戦が繰り広げられました。

結果は下記のとおりです。

順位	チーム名
第1位	上ノ原チーム
第2位	緑町・井出チーム
第3位	庚申町チーム



## 次年子春の山菜まつり 県内外からの客で賑わう

**次** 年子春の山菜まつりが、6月2日(日)にふるさと自然館で開催されました。

これは、次年子山菜まつり実行委員会が主催しているもので、ワラビやミズなどの山菜をはじめ、ゼンマイ干しや切干し大根などの加工品が販売されました。

同会場では、ウドやワラビなどの山菜がふんだんに使われた山菜汁の振る舞いも行われ、大人から子どもまで旬の山菜汁を味わっていました。

また、観光ワラビ園では、実際にワラビを収穫することができます。

秋には味覚まつりも予定されています。



## 映画で被災地を支援 能登半島チャリティー上映会

**令** 和6年度能登半島地震チャリティー上映会が5月19日(日)に虹のプラザなないろホールにて行われました。この企画は宮城県名取市図書館が全国の図書館へ呼びかけて行われたもので、大石田町、名取市、由利本荘市、都城市の4館をつないで開催されました。上映された映画は、石川県能登半島の先端付近、<sup>みやこのじょうし</sup>珠洲市や珠洲郡内浦町(現・<sup>ほうす</sup>凰珠郡能登町)を発祥とする代表的な日本酒造りの技能集団「能登杜氏」を題材とした映画「一献の系譜」で、監督トークのほか、終了後には募金活動が行われ、能登半島地域復興への思いが寄せられました。



## 園児や児童が 伝統的な田植えを体験

**町** 内保育園の園児や小学校の5年生児童たちが手植えによる田植えを体験しました。

この内、大石田南小学校5年生は6月5日(水)に手植えによる田植えを体験しました。これは、大石田町横山地域農地・水・環境保全組織によって伝統的農法による米作りを通して、ふるさとの文化や自然に対して理解を深めてもらおうと行われているものです。児童たちは初めて入る田んぼの感触にはしゃぎながら、泥だらけになって苗を植え付けていました。

各小学校では、秋に稲刈りを行い、収穫した米を味わうことにしています。